

## 「龍北中学校の島ユムタ伝承活動の取組」

### 1 学校名

龍郷町立龍北中学校

### 2 学年・人数

1年生から3年生（計9人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和5年5月～10月 総合的な学習の時間（本校多目的室，体育館）

#### (2) 発表の日時・場所

令和5年6月10日（土） 地域交流会（秋名集会所，嘉渡生活館）

令和5年7月19日（水） 地域の方を講師にした島唄練習会

令和5年11月3日（木） 荒波タイム発表会（本校体育館）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

島ユムタ（しまゆむた），島唄（しまうた）

#### (2) 由来

奄美大島の各地域で古来より使われている方言は，古事記や万葉集に出てくる古語が今も使われ，発音にも大きな特徴がある。奄美大島では，「シマグチ」「シマユムタ」「シマクトゥバ」と呼ばれている。このシマユムタを流暢に話せるのは，今やお年寄りや限られた人たちとなっており，未来を担う若者たちへの伝承が重要な課題である。

#### (3) 構成等

はじめに「島口をどのように残していくか」についての議論を通して，島口の良さや課題について改めて生徒に考えさせた。生徒からは，普段の生活の中で利用できる島口を残していきたいという意見が出た。その後，島口を楽しく学べる取組はどのようなものか生徒自身に考えさせ，荒波タイム発表会（龍北中における学習文化発表会）において，地域の方と一緒に「島口ビンゴ」を実行した。

また，島唄への取組として，地域の方に指導を依頼して，島唄の歌詞の意味を説明してもらい，一緒に島唄を唄ったりする活動を取り入れ，島唄も荒波タイム発表会において披露した。

### 5 保存会や地域との連携の具体

「島口ビンゴ」を作成するにあたって，日常生活で利用する言葉を地域の方の協力を得て，島口に直してもらう地域交流会を行った。この会では，島口を学ぶ場になると同時に地域の方から文化などについても学ぶ場となった。島口ビンゴで活用する島口を学習した後は，「島口カルタ大会」を行い，地域の方と楽しく「島口」について学習することができた。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

島ユムタ活動は，平成16年から本年度で20回目となる伝統的な取組である。これまでは，地域の伝統行事を題材に島口の劇を作り，「荒波タイム発表会」で披露していたが，今年度は地域の方も一緒に参加してもらえる「島口ビンゴ大会」を行うことで，会場全体で「島口」に触れる場をつくった。

また，島唄については，みんなが慣れ親しんでいる曲を島口にして唄う活動を取り入れた。生

徒は自分たちが知っている曲ということもあり、主体的に島唄の練習に取り組む姿が見られた。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



荒波タイム発表会時の島唄



荒波タイム発表会時の島口ビンゴ大会

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【生徒】

- ・ 島唄は自分たちで三味線をひいて唄っていて良かったです。
- ・ ビンゴが楽しく、とてもおもしろかったです。

### 【保護者】

- ・ 島の歴史、生活と子供たちがしっかり向き合っていることが伝わりました。
- ・ 島唄に関して、いつか奄美を島唄とともに思い出したいと思います。
- ・ 島口ビンゴは良いアイデアですね。とても楽しい時間になりました。知らない言葉がたくさんありました。
- ・ 生徒自身が自ら考えて取り組もうとする姿を目標として取り組んでいるところがとても良かったですね。